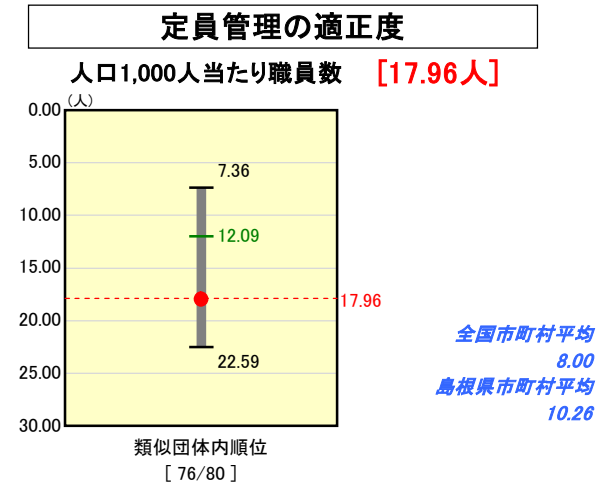
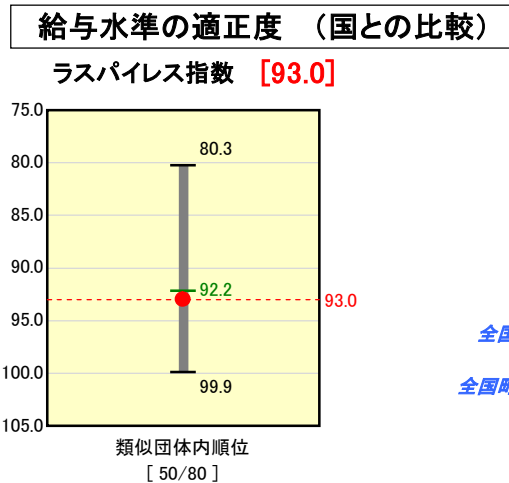
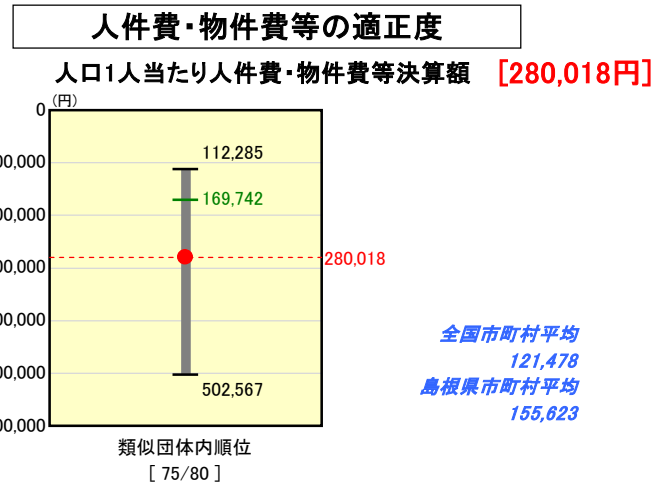
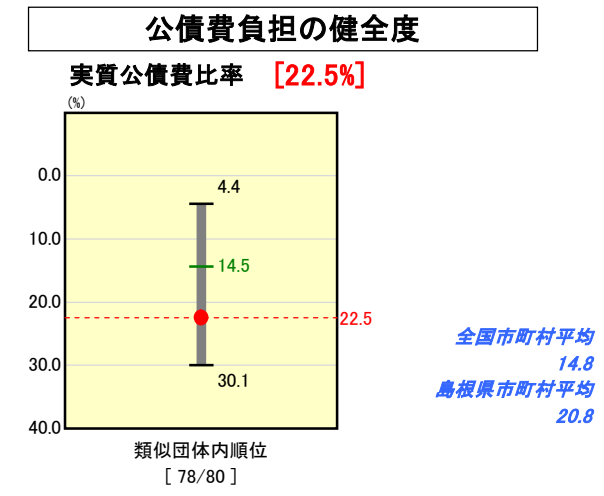
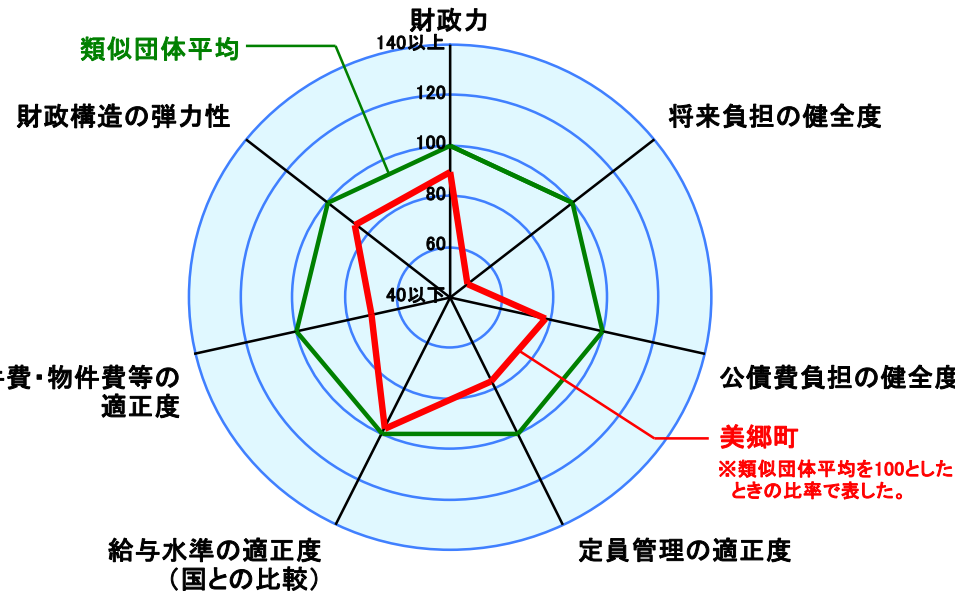
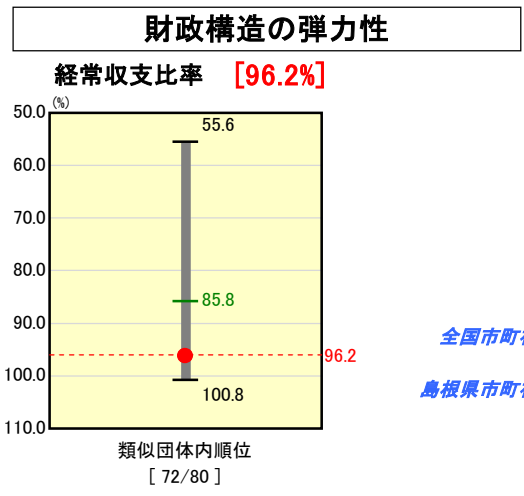
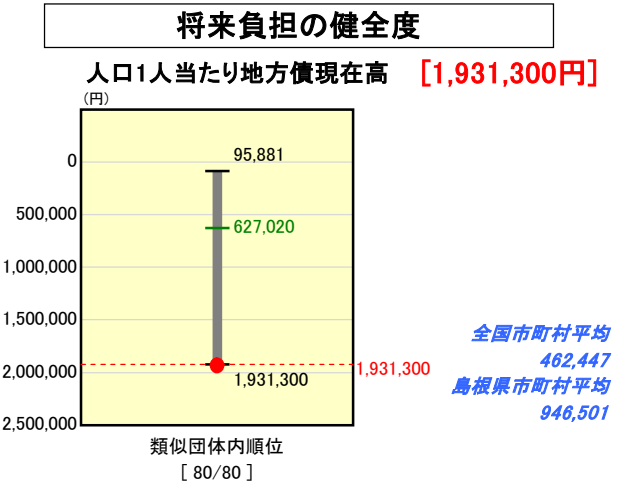
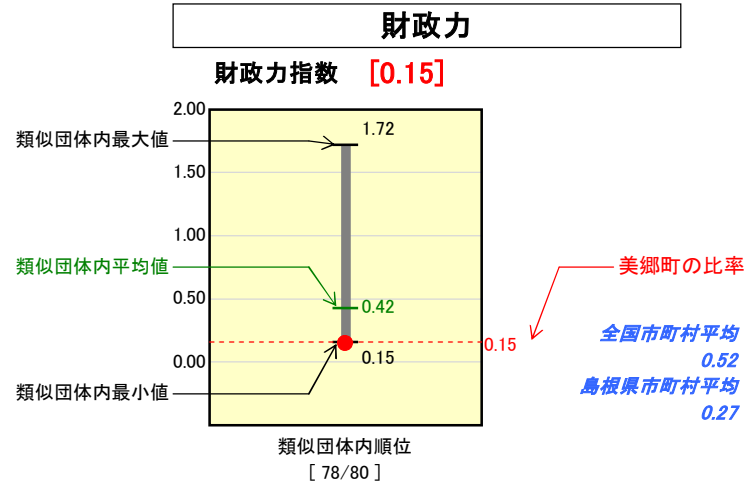


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 島根県 美郷町

人口	6,125人	(H18.3.31現在)
面積	282.92	km <sup>2</sup>
歳入総額	6,773,285	千円
歳出総額	6,607,503	千円
実質収支	157,709	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
人口の大幅な減少(H17国調5,911人※対12国調▲713人)や、全国平均を大きく上回る高齢化率(H17.10末41%)に加え、町内に中心となる産業が無い財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。

**【経常収支比率】**  
合併年度の決算(H16)では99.7%と類似団体平均を大きく上回り、鳥根県下1位となった。この背景には、町内の景気の低迷にあわせ少子・高齢化により人口が減少し、税収が年々落込んでいるうえに交付税の大幅な縮減により、歳入が大幅に減少しているところに償還がピークを迎えたことによる公債費の増大が同時期に重なっている状況にある。H17年度、町では公債費負担適正化計画の策定、中期財政計画の見直しを行い、歳出削減に取り組んだ結果3.4%減少する結果となった。  
H18年度予算においては枠配分方式により新規事業を確保しつつ歳出全般について圧縮をかけ、H19年度にも継続して枠配分方式による予算編成を行い、予算のスリム化を進めている。

**【実質公債費比率】**  
平成初年度に行った普通建設事業の償還がピークを迎えている時期であり、類似団体平均を大きく上回っている。H17年度策定の公債費負担適正化計画に基づき、普通建設事業にも大幅な縮減をかけている。H17単年では21.6%と既に減少傾向にあるため、新規債の発行を抑えている現状では継続して減少する見通しである。  
H19年度には一般財源による繰上償還(226百万円)を当初予算に計上し、公債費負担の軽減に努めている。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
現在の地方債現在高の増大の背景には、平成初年度に景気対策に伴う地方債の発行によるものの比率が大きい(H17末現在高11,829百万円のうち約60%が交付税措置保証分※町独自試算)

**【ラスパイルズ指数】**  
平均よりやや上回るが、合併後より継続して給与体系の見直しを行っている最中である。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
合併直後のため、職員数は平均より多くなっているが、町では定員適正化計画を策定し適正な人員配置に努める。H18末退職者数 8名、H19新規採用1名(普通会計ベース)  
※普通会計職員数目標数値(適正化計画素案による) [H17.4.1] 121人 ⇒ [H27.4.1] 80人  
**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
小規模団体同士の合併であったため、類似団体に比べ職員数も多くなると人口に比べ面積が大きいため、人件費・物件費は割高になっている。H16.H17と退職勧奨等を行い職員数も合併時に比べ大きく減少し、物件費においても予算段階で毎年削減しているため今後は減少に向かう見込みである。